

- ① 配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願いいたします。希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書を注文扱いにて出荷させていただきます。
- ③ ★印の図書は特に注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2020年6月24日配本 定価3740円(本体3400円+税) 三浦隆宏 著 <b>活動の奇跡</b> アーレント政治理論と哲学カフェ ISBN978-4-588-13030-4 C1010 ★ アーレントの見出した「活動」の奇蹟と、哲学カフェ実践の軌跡。人生のさまざまな問題の当事者を含め、誰もが平等に声を発し、耳を傾け、その人固有の存在として現われることのできる新しい政治的公共性の場所づくりが、いま求められている。哲学とその外を往還し、村上春樹と悪のモチーフ、建築や臨床の知の具体例から、「私たち」の感覚を取り戻し、思考なき全体主義を克服する道を探る好著。【哲学・社会】 ☆関連書:本書に続き7月には、三浦隆宏ほか編『アーレント読本』が総勢50名弱の執筆者を擁して刊行予定!	四六判上製・378頁
帖合・番線	部数	法政大学出版局 2020年6月25日配本 定価5720円(本体5200円+税) オトフリート・ヘッフェ著/品川哲彦、竹山重光、平出喜代恵 訳 <b>自由の哲学</b> カントの実践理性批判 ISBN978-4-588-01114-6 C1310 ★★ 現代ドイツの社会哲学の泰斗が、カントによる道徳哲学・倫理学の革命の意味を明快に読み解き、いまを生きる私たちに提示する最良の注釈書。啓蒙、批判、道徳、世界市民主義という4つの駆動力をめぐる縦横にテキストと対話し、現代世界の政治的問題に引き寄せながらその歴史的意義を説く。いまなお人類の思考の最前線にありつづけるカントをめぐる、見通しのよい最新の手引き!【哲学・倫理】 ☆関連書:加藤泰史・小島毅編『尊厳と社会』上・下巻、牧野英二編『新・カント読本』(小局刊)ほか。	四六判上製・572頁 《叢書・ユニベルシタス 1114》
帖合・番線	部数	法政大学出版局 2020年6月30日配本 定価5720円(本体5200円+税) 金志成 著 <b>対話性の境界</b> ウーヴェ・ヨーンゾンの詩学 ISBN978-4-588-49516-8 C1090 ナチス政権下のドイツで生まれ、旧東独で育ち、西ベルリンで作家としてデビュー、イデオロギーで分断された世界を対話的に描き、ブランショにも称賛され、戦後ドイツを代表する作家としての評価の一方、イギリスで孤独死したヨーンゾン。「対話性」を根本的な原理とする彼の文学は、まさしく「境界」の瞬間においてこそもっとも創造的な力を発揮する。その文学を貫く「真実への困難な探求」を描き出す。【文学・思想】 ☆関連書:トーマス・メレ『背後の世界』(金志成訳、河出書房新社)、前田佳一編『固有名の詩学』(小局刊)。	A5判上製・478頁
帖合・番線	部数	法政大学出版局 2020年7月下旬配本 定価3630円(本体3300円+税) ゲルハルト・レオ 著/小杉隆芳 訳 <b>なぜ彼女は革命家になったのか</b> 叛逆者フロラ・トリスタンの生涯 ISBN978-4-588-36420-4 C0023 ★ 女は男に従うべきとされていた19世紀のヨーロッパで、女性と労働者の地位向上のために連帯を訴え、社会と闘った作家フロラ・トリスタン。夫に執拗につけ回され、当局に目をつけられても、貧民街や監獄、工場や病院を取材し、本を執筆し、正義を主張しつづけた。時代にあらがひ、自由を求めたそのたくましい精神は、孫の画家ゴーガンにも受け継がれる。【伝記・女性史】 ☆関連書:『ハリエット・タブマン』(小局刊)、バルガス＝リョサ『バスガ楽園への道』(河出文庫)など。	四六判上製・320頁
帖合・番線	部数	法政大学出版局 2020年7月下旬配本 定価3960円(本体3600円+税) ヴィンフリート・メニングハウス 著/伊藤秀一 訳 <b>ダーウィン以後の美学</b> 芸術の起源と機能の複合性(仮) ISBN978-4-588-01119-1 C1310 ★ 人間の技芸は生物学的適応により生まれたのか。なぜ人間は他の動物をはるかに超えて技芸の範囲を拡張できたのか。人間の高度な技芸にも太古の起源の痕跡は見いだされるのか。ダーウィンが性淘汰を理論化した大著『人間の由来』の精読を通じて人間と動物における自己装飾、音楽、ダンスなどの機能を分析し、美の感覚についての進化論的仮説とカントらが論じた美的判断・美的選好の哲学的伝統を架橋する。【哲学・進化論】 ☆関連書:W. メニングハウス『吐き気』(小局刊)、同『美の約束』(現代思潮新社)など。	四六判上製・304頁 《叢書・ユニベルシタス 1119》
	部数	法政大学出版局 2020年6月8日重版出来 定価3520円(本体3200円+税) ピーター＝ポール・フェルベーク 著/鈴木俊洋 訳 <b>技術の道徳化</b> 事物の道徳性を理解し設計する ISBN978-4-588-01033 C1310 技術が我々に迫っている倫理的挑戦とは、適切な仕方では技術発展に同行することである。倫理を技術に対峙させることをやめて、我々は、技術との相互作用のなかで自分達の生を形成していくための語彙や実践を作り出さねばならない。倫理においては、人間と技術の双方が本質的な役割を果たしている。技術の使用者である人間の道徳から、人間と機械の相互作用の中にある道徳へ。フーコー、ラトゥール、スローターダイクなどを駆使して、ポスト現象学の立場から、技術倫理と科学技術社会論(STS)を刷新する新しい《技術哲学》の誕生。【倫理学・現象学】 ☆関連書:ラトゥール『社会的なものを組み直す』(小局刊)など。	四六判上製・318頁 《叢書・ユニベルシタス 1033》



ご担当者様 氏名: [ ] 担当ジャンル: [ ] TEL: [ ] E-mail: [ ]

\* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。  
\* 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。  
\* 今後、新刊内容のデータ等を e メールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。